

2021年12月15日 発行

公益社団法人 福井県理学療法士会

News Letter

No.205

SDGs について

嶋田病院 田中寿幸

本年も残すところあと僅かとなりました。皆さまにおかれましても今年の振り返りや新年に向けた準備など慌ただしい時期を迎えようとしているのではないのでしょうか。

私が福井県理学療法士会（県士会）の事務局総務部部長に着任して、5年目を迎えています。自身がまさかこうして役員となり、皆様へ何かを伝える側に回るとは夢にも思っていませんでしたが、ご迷惑をお掛けしながら何とか取り組ませて頂いています。

さて、皆さまは「SDGs」という言葉をご存知でしょうか？2021年の新語・流行語大賞のノミネート30語にも選ばれており、最近、テレビを見ていると、企業のSDGsに対する取り組みの紹介や、SDGs週間などが特集されています。

SDGsとは、Sustainable Development Goalsの頭文字を取った言葉で、日本語に訳すと持続可能な開発目標となります。2015年に国連で採択されたSDGsは、豊かで活力ある未来をつくるために17の目標を定め、2030年までの達成を目指す世界規模の取り組みです。環境問題や貧困問題、経済面の問題、健康や教育の問題など様々な分野にまたがって目標が設定されています。一方で、理学療法士は、健康と教育に関連する職業であり、SDGsを達成する上で、重要な立場であるように見えます。

では、県士会の事業と、SDGsの目標を紐づけて考えてみます。

例えば県士会の事業には、「理学療法を通じた県民の医療・保健・福祉の増進に関する事業」がありますが、これはSDGsでいうならば、目標3「すべての人に健康と福祉を」や、目標11「住み続けられるまちづくりを」の項目に関わる部分だと思えます。また、「理学療法の学術及び技能の向上に関する事業」や「理学療法士の教育に関する事業」としては、SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」の項目に繋がると思えます。その他に、県士会の取り組みには「関係団体との連携及び協力に関する事業」もありますが、SDGsでいうと目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」の項目に関連してくると考えることができます。

そして現在、コロナ禍の影響もあり、県士会の理事会や拡大理事会、研修会等ではZoomの利用が進んでいますが、そのWeb会議システムの導入により、ペーパーレス化、紙の使用を減らすことができます。この取り組みも、SDGsとして考えると、目標12の「つくる責任 つかう責任」の項目として捉えることができます。

このように、医療・福祉に関わる私たちもSDGsを理解し、小さなことからでも取り組んでいけるといいのかもしれない。



福井県理学療法士会

2021年12月15日



施設紹介



医療法人社団茜会

医療法人社団茜会は坂井市の南端で、福井大橋北詰に位置します。1982年に藤田神経内科病院が設立され、介護老人保健施設「ディーパあかね」、通所リハビリテーション、グループホーム「あかねの里」、有料老人ホーム「吾亦紅」を併設施設として持ち、あかねケアマネジメントセンター、あかねヘルパーステーションを併設し、坂井市の委託を受け丸岡包括支援センターの運営をしています。また短時間通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションも実施しています。

「医療・介護の力で安心して生涯暮らせる社会を」を理念として神経内科という専門性を持って各事業所が医療福祉に専念し、地域に信頼される施設づくりを目指しています。

リハビリテーション科は理学療法士8名、作業療法士3名、言語聴覚士3名で、医療、介護分野を分担して診療にあたっています。

藤田神経内科病院は県内では数少ない神経内科を主科とする40床の病院で、モーニングケア、365体制、院内デイケアも行っています。主対象は脳卒中後遺症やパーキンソン病を中心とした神経難病、肺炎後等の廃用症候群ですが、高齢施設併設もあり、骨折の保存療法、食事が困難になった方への対応も行っています。困難事例も多いですが、法人の各事業所と相談、情報共有、連携しながら患者様、利用者様がよりよい生活を送られるように対応できることが茜会の強みだと思います。

毎週神経内科専門医の院長を中心にカンファレンス、文献抄読会も行い、臨床から出てきた疑問点を解決できるように、細々と研究活動も行っています。また今年11月に電子カルテが導入され、まだ稼働したばかりでバタバタとしているところです。

丸岡町唯一の「病院」として私たちリハビリテーション科のモットーである小回りを活かしたリハビリテーション、リハビリテーションマネジメントを今後も進めていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いたします。



2021年12月15日

事務局からのお知らせ 12月

◆ 会員の動向（令和3年11月末現在）◆

会員数：938名（勤務先会員 884名，自宅会員 54名），
 施設数：188施設，新入会員：46名，休会者数：14名，退会者数：23名
 ＊士会活動は皆様の会費によって運営されております＊



◆ 福利厚生について（協会HPより）◆

日本理学療法士協会クラブオフとは？

「クラブオフ」は、企業・法人・団体が契約する法人会員制クラブです。
 クラブ運営のための費用を本会が負担することで、会員の皆さまには毎日の暮らしや余暇に役立つ多彩なサービスを、メンバー限定の会員優待料金でご利用いただけます。

（休会の方のご利用はできません。）

サービス例（R3.11末現在：レストラン・宿泊施設・カラオケ・映画館等が優待価格でご利用頂けます）



👉 勝山城博物館
 入館料 20%OFF



極楽湯 👉
 入館料 10%OFF



👉 バーガーキング
 最大 390円 OFF

【利用するには】

ご利用いただくにあたり、会員登録が必要です。

■お申込み・詳細は協会のHPをご確認ください。

【登録に際しての注意】

協会では、スタンダード会員（会費無料）」にて契約しています。

申込ページの「希望する会員スタイル」は、「スタンダード会員（会費無料）」を選択してください。

※申込初期設定では、グレードアップサービスが受けられる「VIP会員（月額500円 [税別]）」となっておりますので、十分ご注意ください。

「VIP会員（月額500円 [税別]）」をご希望される場合は、そのままお申込みください。

（会費は自己負担となります）

【利用開始に際しての注意】

移動申請時期により、クラブオフ利用開始までお時間をいただくことがあります。ご了承ください。

クラブオフ ログイン

- ログインIDは、日本理学療法士協会会員証に記載の『8桁の協会会員番号』（半角）です。
- 初期パスワードは、『生年月日の月日』（半角数字4桁）です。

※生年月日が1月1日の場合⇒初期パスワードは、「0101」となります。

◆ 会員の皆様へ ◆

会員の皆様、平素より当会の運営にご協力とご理解を頂き厚く御礼申し上げます。
 寒さも日増しに厳しくなる中、心せわしい年の暮れを迎え何かとご多忙と存じます。皆様の心身のリフレッシュに会の福利厚生がお役に立てれば幸いです。ご健康にはくれぐれもお気を付けください。

協会HPの会員サービスを見てね。
 まだまだあるよ！



福井県理学療法士会
 事務局
 笈田・横井
 TEL：0776-29-7003

2021年12月15日

第
38
回

東海北陸理学療法学会大会

臨床や地域の現場にこそ 本当がみえる

—技術と科学のクオリアを求めて—

2022年

会期

10月29日土・30日日

会場

オンライン開催

※個人のインターネットからご参加

大会長

石田 和人 豊橋創造大学

主催

東海北陸ブロック理学療法士協議会

担当

公益社団法人 愛知県理学療法士会

特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会

演題登録期間

2022年4月1日金 ▶ 5月31日火

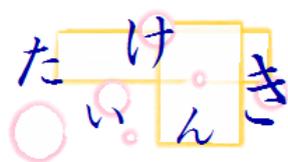
運営
事務局

株式会社ティーケーピー
イベント・コンベンション事業課内
E-mail: event-medical@tkp.jp

<https://thpt38.jp/>



2021年12月15日



若狭ブロック研修会に参加して

介護老人保健施設なごみ 福尾 優希

令和3年9月24日にリモート形式での若狭ブロック研修会が開催されました。今回、自分は発表者として参加させて頂きました。リモート形式という発表で中々難しいこともありましたが、今回の発表では自分が理学療法士としての考えや思いなど、他の諸先生方に伝える事で理学療法士としての3年間を振り返ることが出来ました。また、他の先生方の意見や考え方を聞くことで、改めて自分の理学療法士としての考えや思いを整理することが出来ました。どの先生方も患者様に寄り添うという思いを持ち試行錯誤を繰り返して実践していると感じました。患者様に寄り添うという事は理学療法士としては当たり前のことだと思いますが、実際に働いていても本当に患者様に寄り添ってリハビリを行っているのか、患者様だけでなく家族様や患者様に関わる方にもしっかりと寄り添っているのかなど改めて考え直すことが出来たかと思います。今回の発表をまた一つのきっかけに理学療法士としてさらに飛躍できるように精進したいと思います。最後に、今回の若狭ブロック研修会に参加された諸先生方には貴重なご意見を頂き誠にありがとうございます。



【編集後記】

今年も終わり、もうすぐ新年を迎えます。令和3年の正月は、雪かきに明け暮れました。この冬も大雪になるのではないかと、今から戦々恐々としています。ウィンタースポーツができる程度の雪がスキー場で降るのは歓迎ですが、家の戸口が歪むような重い積雪が屋根の上に乗るのは勘弁してほしいところです。高齢者の転倒事故や雪かき中の事故、道路の凍結による通勤車や通所サービスの送迎車の交通事故、大渋滞にガソリンの不足など大変でした。除雪が済んでいない場所は、移動もままならなかったです。福井県では「みち情報ネットふくい」にて除雪状況マップで除雪車が除雪を行った路線が表示されるようになりました。積雪情報やカメラでポイント毎の情報も確認できるようです。是非、活用していきたいですね。



賛助会員

有限会社 奥義肢製作所
福井県福井市二の宮 2 丁目